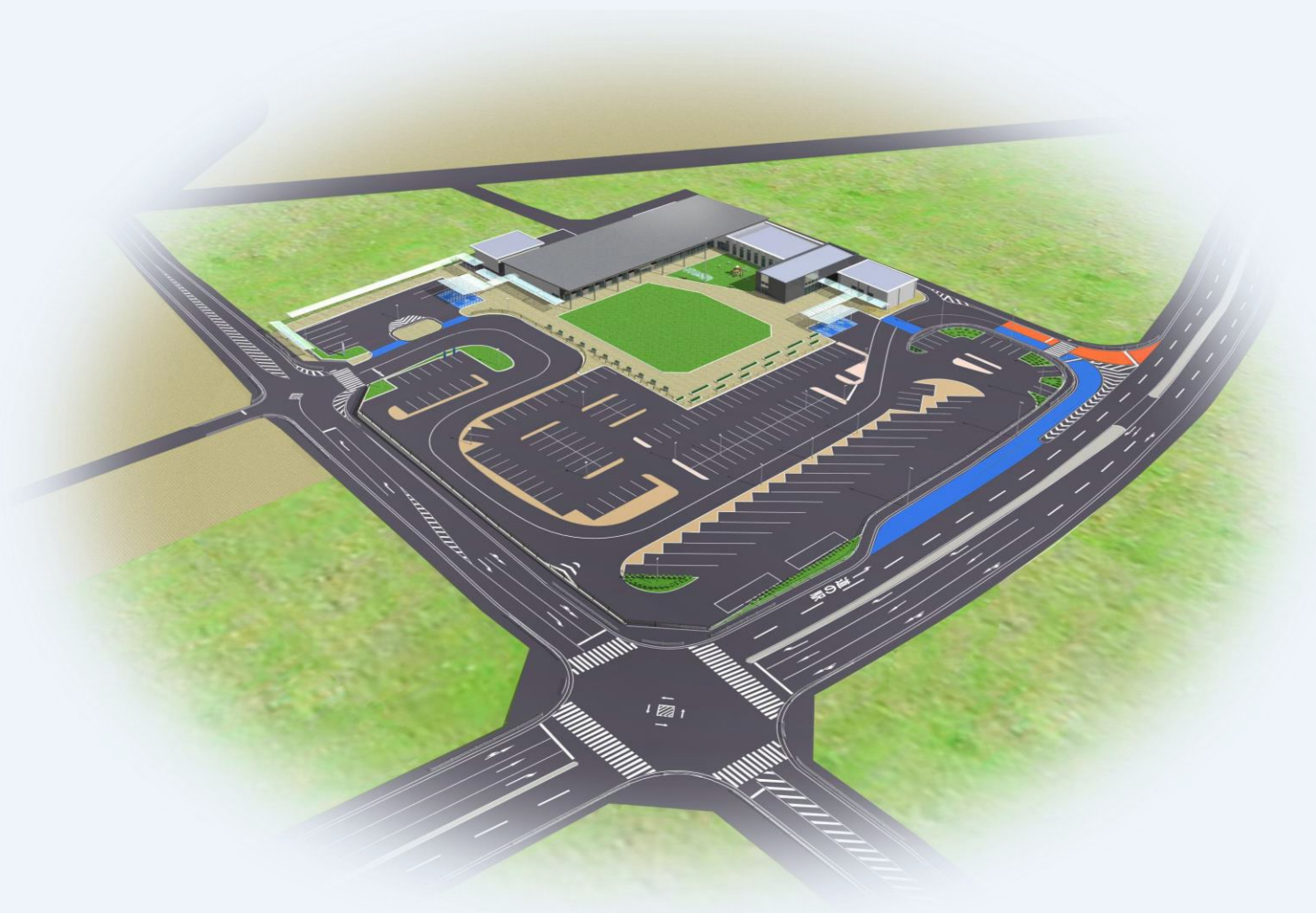




日進市 道の駅

Nisshin Michi-no-Eki Project



「道の駅」計画地の位置

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

「道の駅」計画地は、日進市のほぼ中央に位置する尾三消防本部日進消防署より、主要地方道瀬戸大府東海線を挟んだ西側付近（本郷町前田周辺）に計画している。

【位置図】



日進消防署より計画地を望む



「道の駅」の特徴

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

地域福祉(子育て支援)

防災・減災

農業振興

市民まつり等

開駅予定年度

平成35年度

- 日進市は、子育て世代を中心に人口が増加しており、平成72年まで増加すると推定されている。広い駐車場を備え、気軽に車で立ち寄りやすい道の駅に子育て支援機能を持たせ、情報発信能力の向上や子育て支援ニーズ拡大への対応を図る。
- 日進市は、南海トラフ地震の防災対策推進地域に指定されており、人命救助活動部隊の拠点を第2次緊急輸送道路沿いに移転することで、より効果的かつ効率的な防災体制の充実を図る。
- 農業振興の推進を目指す「田園フロンティアパーク構想(基本計画)」の拠点(農業体験施設)に隣接して整備することで、相乗効果を図る。
- 「道の駅」で、イベント機能を集約した一体感のあるイベントの開催により、市内外への魅力発信につながるとともに市全体の活性化に寄与。

- 設置者：日進市
- 路線名：主要地方道瀬戸大府東海線
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約20,000m²
- 基本計画：平成30年2月策定

【主な整備イメージ】

- 地域福祉(子育て支援)
子育て支援施設(屋内施設・屋外広場)、公園施設
- 防災・減災
人命救助機能の移転、防災ヘリポート、防災倉庫
- 農業振興
「田園フロンティアパーク構想(基本計画)」との相乗効果
- 市民まつり等
「道の駅」での市民まつり等のイベントの開催(イベント開催の可能性分析を整理)



整備コンセプト

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

整備コンセプト

市民が集い

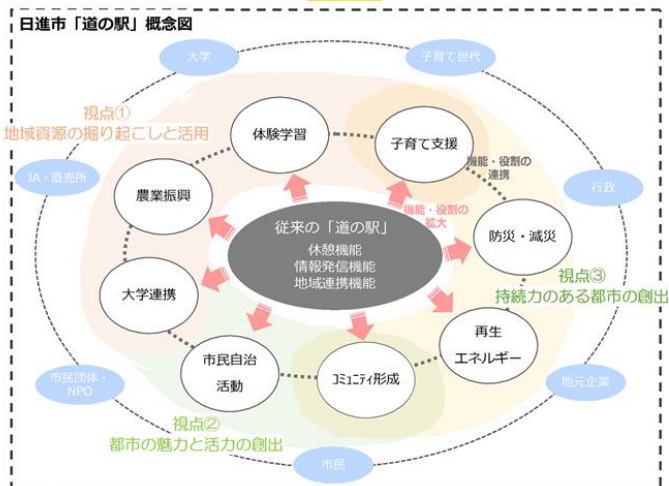
にぎわい 成長し

都市をデザインする

「道の駅」

- 農産物直売・物販施設、コミュニティ・交流施設等を有する「道の駅」では、子育て世帯、学生、NPO等、様々な人たちが集まります。また、農業体験施設が隣接しており、農業団体等の人々が集まる場にもなります。さらに、道路休憩機能として多くの人々が集まります。
- これまで、子育て支援、防災・減災、農業振興等、それぞれで集まっていた活動を「道の駅」で行うことにより、容易に情報発信できるようになり、情報交換や交流・連携の促進が期待できます。
- 情報交換や交流・連携が進むことで、大学連携や体験学習等の要素も加わり、さらに市民が集い、にぎわい、「道の駅」を通じて、市民、地域、コミュニティ、大学が主体的に関わり、新しい活動や魅力が生まれ、市民自治活動の発展につながります。
- そして、「道の駅」での学びや市民自治活動がまち全体に広がり、まちが成長していきます。市民が都市をデザインする「道の駅」を目指します。

「道の駅」の整備コンセプト概念図



重点的に取り組むべき地域課題

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

道の駅で重点的に取り組むべき地域課題は次の4つ。これらの地域課題を、日進市が現施策を進める中で道の駅整備にあわせて解決していきたいと考えている。

「道の駅」で行う重点的に取り組むべき地域課題への対応

地域課題① 子育て支援

主な整備内容イメージ

・子育て支援施設（屋内施設・屋外広場施設） ・公園施設

地域課題② 防災・減災

主な整備内容イメージ

・人的救助機能の移転 ・防災ヘリポート ・防災倉庫

地域課題③ 農業振興

・「道の駅」を既計画である田園フロンティアパーク構想（基本計画）の拠点と隣接させることで、田園フロンティアパーク構想（基本計画）をより推進させる

「道の駅」が整備されることにより間接的に行う重点的に取り組むべき地域課題への対応

地域課題④ 市民まつり等

・「道の駅」での市民まつり等のイベントの開催可能性

1. 「子育て支援」「防災・減災」「農業振興」等の地域課題の解決を図るとともに、これからのまちづくりに向けた地域の拠点となる「道の駅」を目指す
2. 「道の駅」の整備を契機に、さらなる市民間の交流や機能連携が図られることで都市活動やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展と活力につながっていく、市民ベースの都市型の「道の駅」の形成を目指す

地域課題①：地域福祉（子育て支援）

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

現状

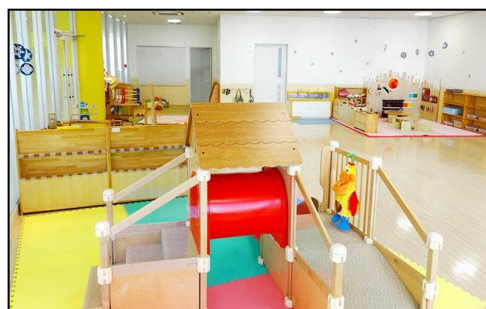
- ◆子育て世代を中心に人口が増加しており、平成 72 年まで増加すると推定されている
- ◆地域での子どもの遊び場が少なく、広場・公園等の整備の要望が高い

課題

- 子育て支援ニーズ拡大への対応が必要
- 子ども・子育て世帯が増加しているのに子育て支援施設、公園が少ない

問題点（現施策進行上の問題点）

- 子育て支援施設の問題点
→子育て中の親子が気軽に集まって相談できるような場所が限られている
- 子育て世代に対する広場・公園等の問題点
→公園そのものの不足
→車で気軽に行ける広場・公園が少ない
- 福祉会館による子ども支援の問題点
→利用時間、利用規則等に制約がある



子育て支援施設イメージ

「道の駅」における方向性

- ①駐車場の広い子育て支援施設と広場・公園等を設置する
- ②道の駅で「出張広場」を開催し、子育て相談等の機会を増やし、子育て世帯の孤立化を防ぐ
- ③気軽に車で寄りやすい場所に子育て支援施設と公園を設置し、利用者を増やし情報発信能力を高める
- ④土・日曜日にも出張相談や情報提供等を行えるようにし、多くの市民が利用しやすくなる

※「出張広場」：地域に出向き開催する親子交流の場

※「道の駅」の整備とあわせて想定される対応の方向性であり、すべてを対応するものではない

地域課題②：防災・減災

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

現状

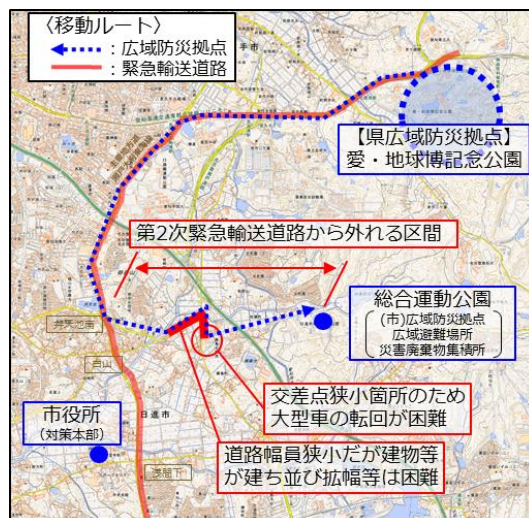
- ◆南海トラフ地震の防災対策推進地域に指定
- ◆防災拠点に指定されている総合運動公園は、高次緊急輸送道路沿線から離れている
- ◆防災倉庫は容量が限られている

課題

- 南海トラフ地震を想定したさらなる防災体制の充実が必要
- 救護所近くに耐震性貯水槽等水源の確保が必要である
- 熊本地震における支援物資の滞留、長期化する避難所体制等、新たな課題への対応が必要

問題点（現施策進行上の問題点）

- 防災体制の整備：総合運動公園の問題
→公園までの経路は、緊急輸送道路から離れ、途中に交差点狭小箇所や道路幅員狭小箇所があり通行困難
→総合運動公園は防災機能が集中し手狭
→公園内では道路幅が狭い等大型車両の進入が困難



「道の駅」における方向性

- ①人命救助機能を総合運動公園から緊急輸送道路沿線の道の駅に移転
- ②道の駅にヘリポートを設置する
- ③道の駅に防災倉庫、耐震性貯水槽を設置する
- ④道の駅で防災啓発を行う
- ⑤防災をテーマに、大学参加型の情報発信、防災学習の場を創出

※「道の駅」の整備とあわせて想定される対応の方向性であり、すべてを対応するものではない

地域課題③：農業振興

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

現状

- ◆農家の減少、農地面積の減少、遊休農地が増えている
- ◆市民農園や農業体験のニーズは高く、特に農業体験は子育て世代からの需要が高い
- ◆市民アンケートでは、「農産物直売施設」を求める声大きい

課題

- 新規就農者等後継者を増やしていきたいが、増えない
- 遊休農地を解消していく必要がある
- 農に対する理解向上を図る必要がある

問題点（現施策進行上の問題点）

- 田園フロンティアパーク構想（基本計画）策定後の問題点
 - 農業従事者数が増えないため、事業の計画が進まない
 - 体験の場などの整備を進めようとしても、多くの人を呼び込むことが難しい



「道の駅」における方向性

- ①当面は田園フロンティアパーク構想（基本計画）の休憩施設、管理施設、防災施設、農学校、レストランの施設について、「道の駅」で整備する施設を利用することとし、田園フロンティアパーク構想（基本計画）との一体化を図る
- ②「道の駅」に集まる人に対して、市民農園、農学校、体験農園のPR、参画を促し、田園フロンティアパーク構想（基本計画）の事業を推進させ、新規就農者の育成につなげる

※「道の駅」の整備とあわせて想定される対応の方向性であり、すべてを対応するものではない

地域課題④：市民まつり等

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

※市民まつり（産業まつり）、にっしん夢まつりについては、他の施策の課題・対応の方向性としてまとめている地域課題（子育て支援、防災・減災、農業振興）とは異なり、具体的なイベント行事の現状と問題点を整理しているものであり、「道の駅」整備とあわせて対応できるかの可能性について分析するものである

現状と問題点

- 市役所では、市民まつり等多くのイベントが開催されているが、大きなイベントを行うことができる広場がないため、イベント機能が分散化している
- 市役所で行われるイベント時の駐車場が不足している
- イベント開催に伴う交通規制や交通渋滞により、エコドーム・図書館が利用しづらい
- 駐車場がイベント会場となるため、住民票発行等の休日窓口サービスの利用者から「非常に利用しづらい」「利用できない」との声が多い



「道の駅」における方向性

- ①「道の駅」で市民まつり等のイベントの開催が可能となれば、分散化しているイベント機能を集約でき一体感のあるイベントを開催できる
- ②駐車場不足の軽減や利便性向上を図るため、バス発着場をイベント会場近くに配置し、利用しやすく分かりやすくする

「道の駅」に備える機能・施設と規模

「道の駅」に備える機能・施設と規模は次のとおり。

【機能・施設】

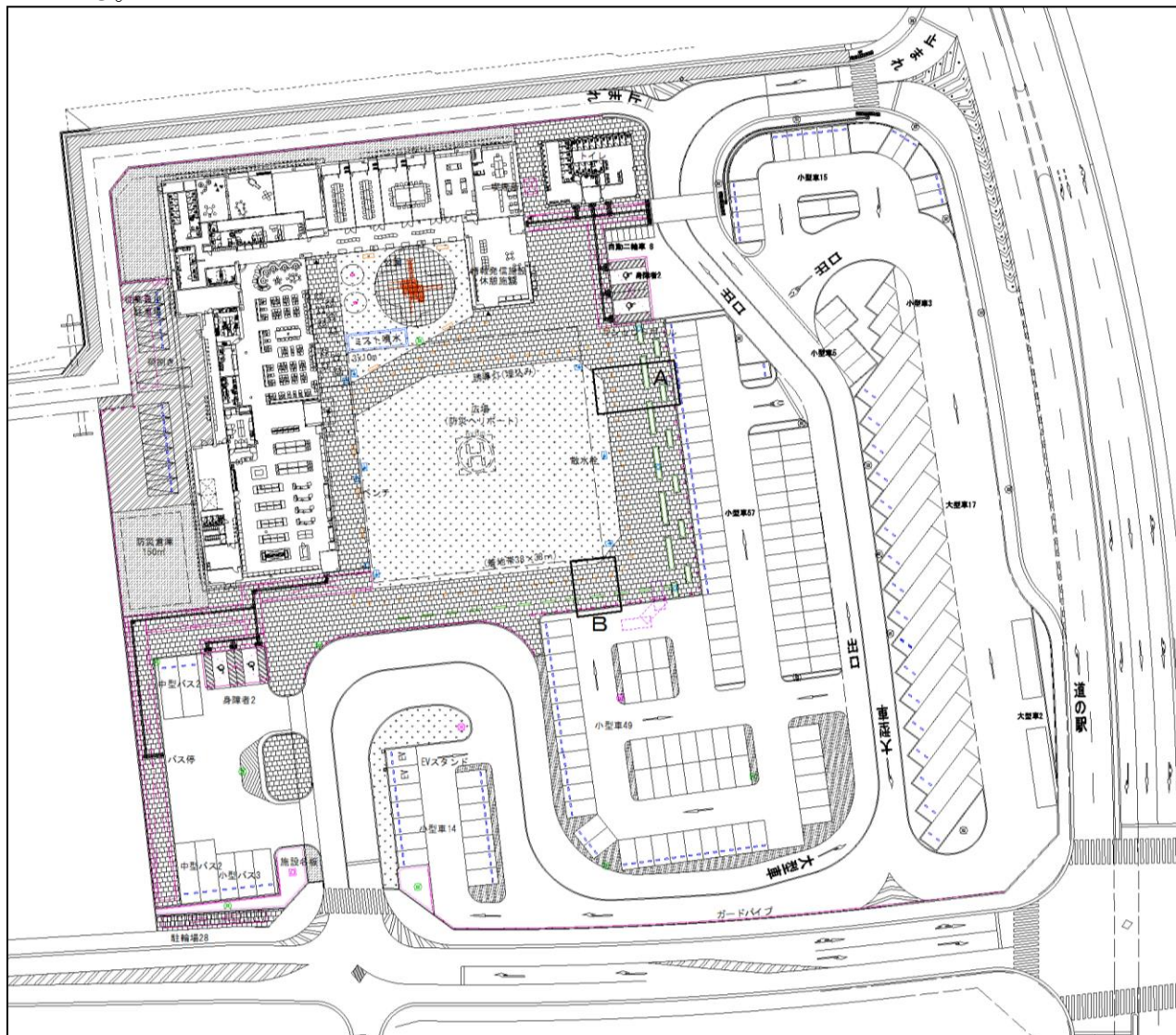


【主な施設規模】

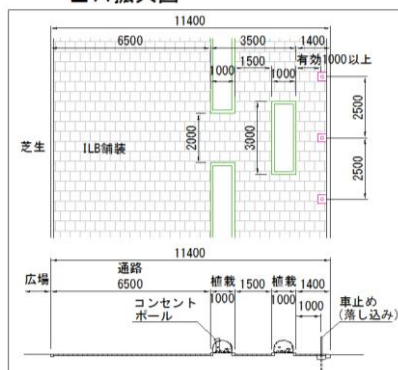
機能名	施設名	具体的施設名	施設規模
休憩機能	駐車場施設	大型車駐車ます	19台
		小型車駐車ます	80台
		思いやり駐車スペース	2台
	トイレ施設	トイレ施設	約150㎡
情報発信機能	休憩施設	休憩施設	約140㎡
	情報発信施設	情報発信施設	
地域連携機能	駐車場施設	小型車駐車ます	63台
		思いやり駐車スペース	2台
	トイレ施設	トイレ施設	約130㎡
	飲食施設	飲食施設	約340㎡
	農産物直売・物販施設	農産物直売物販施設	約540㎡
	コミュニティ・交流施設	子育て支援施設	約240㎡
		屋外広場	約1,330㎡
		公園	約370㎡
		多目的施設	約270㎡
		DMO活動拠点（事務所）	約90㎡
防災機能	防災拠点	管理施設	約110㎡
		救助救援場所	駐車場兼用
		防災ヘリポート	屋外広場兼用
		防災倉庫	約150㎡
		耐震性貯水槽	地下施設
その他の機能	その他機能	自家発電装置	-
		バス停施設	約1,000㎡
		雨水 貯留施設	地下施設

基本設計（全体）

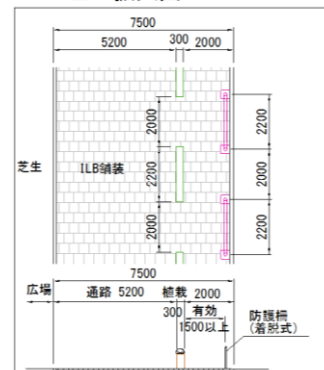
「道の駅」に備える施設配置を示す。敷地面積は約 20,000 m²、屋内施設の建築面積は約 2,200 m²としている。



■ A 拡大図



■ B 拡大図



- ⊗ 照明灯 H=3.5m
- ⊗ 照明灯 H=5.0m
- 誘導灯（埋込み）
- コンセントポール
- 散水栓（蛇口）
- タイヤ止め
- 車止め（上下式）
- 防護柵（着脱式）
- 外周フェンス
- ⊠ シェルター
- ベンチ

※タイヤ止め
大型車用のタイヤ止めは固定
小型車用のタイヤ止めは着脱式

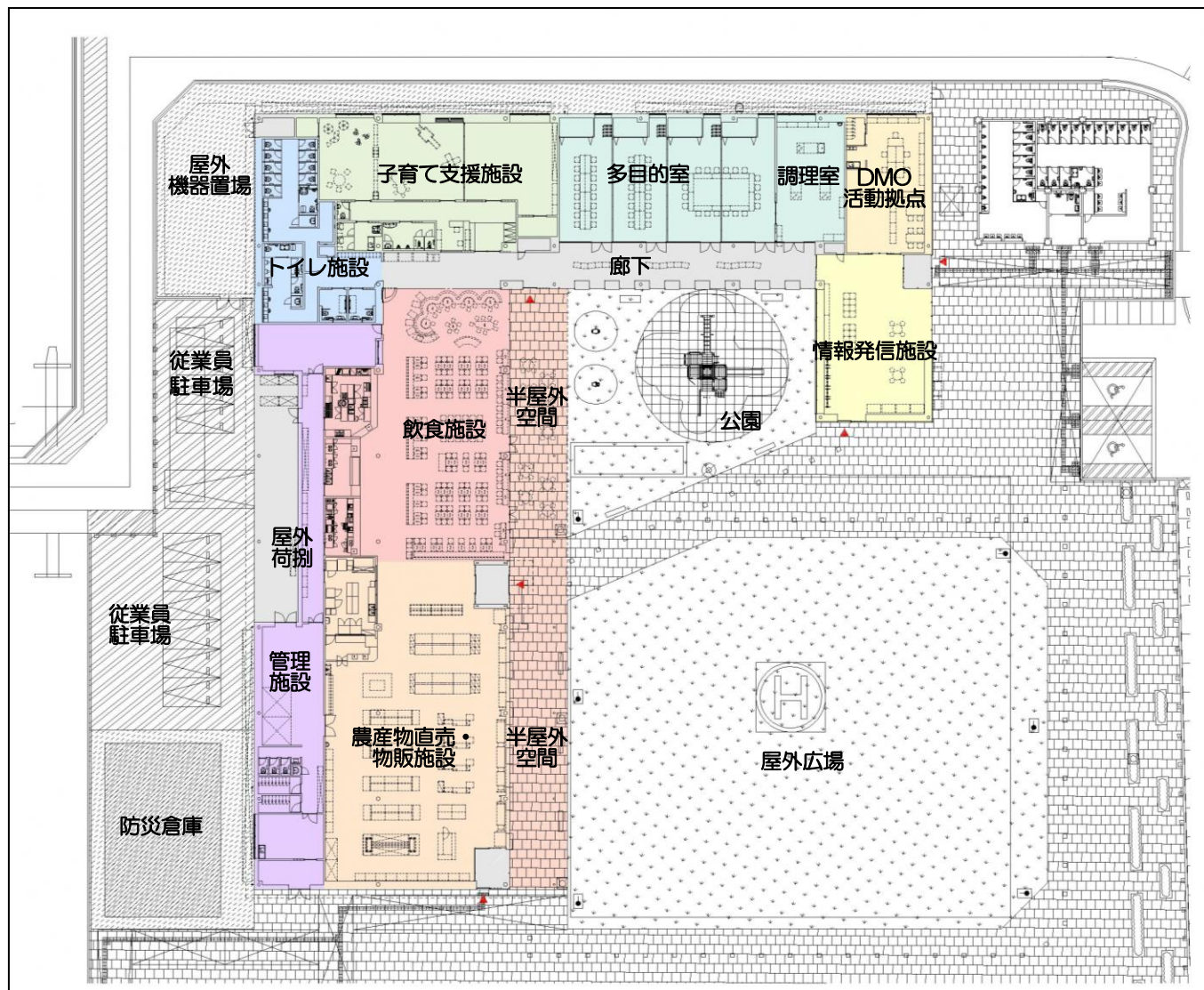
屋外広場と駐車場の間に植栽帯等を設置することにより、バッファを持たせることで利用者の安全に配慮する（比較的舗装幅が広い場合）。

屋外広場と駐車場の間に着脱式防護柵等を設置することにより、バッファを持たせることで利用者の安全に配慮する。

※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

基本設計（屋内施設・公園・屋外広場等）

「道の駅」に備える屋内施設・公園・屋外広場等の施設を以下に示す。



※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

凡 例

◀ : 主要エントランス

◻ : 情報発信施設
(休憩施設を含む)

◻ : DMO活動拠点

◻ : 子育て支援施設

◻ : 多目的施設

◻ : 飲食施設

◻ : 農産物直売・物販施設

◻ : 管理施設

◻ : トイレ施設

◻ : 半屋外空間

◻ : その他（風除室・廊下等）

屋外広場や多目的施設など、様々な市民活動の交流の場として利用できます。

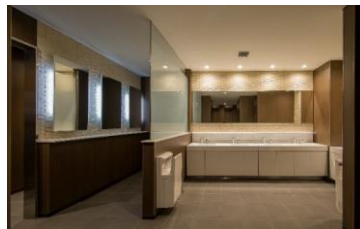
■子育て支援施設



■飲食施設



■トイレ施設

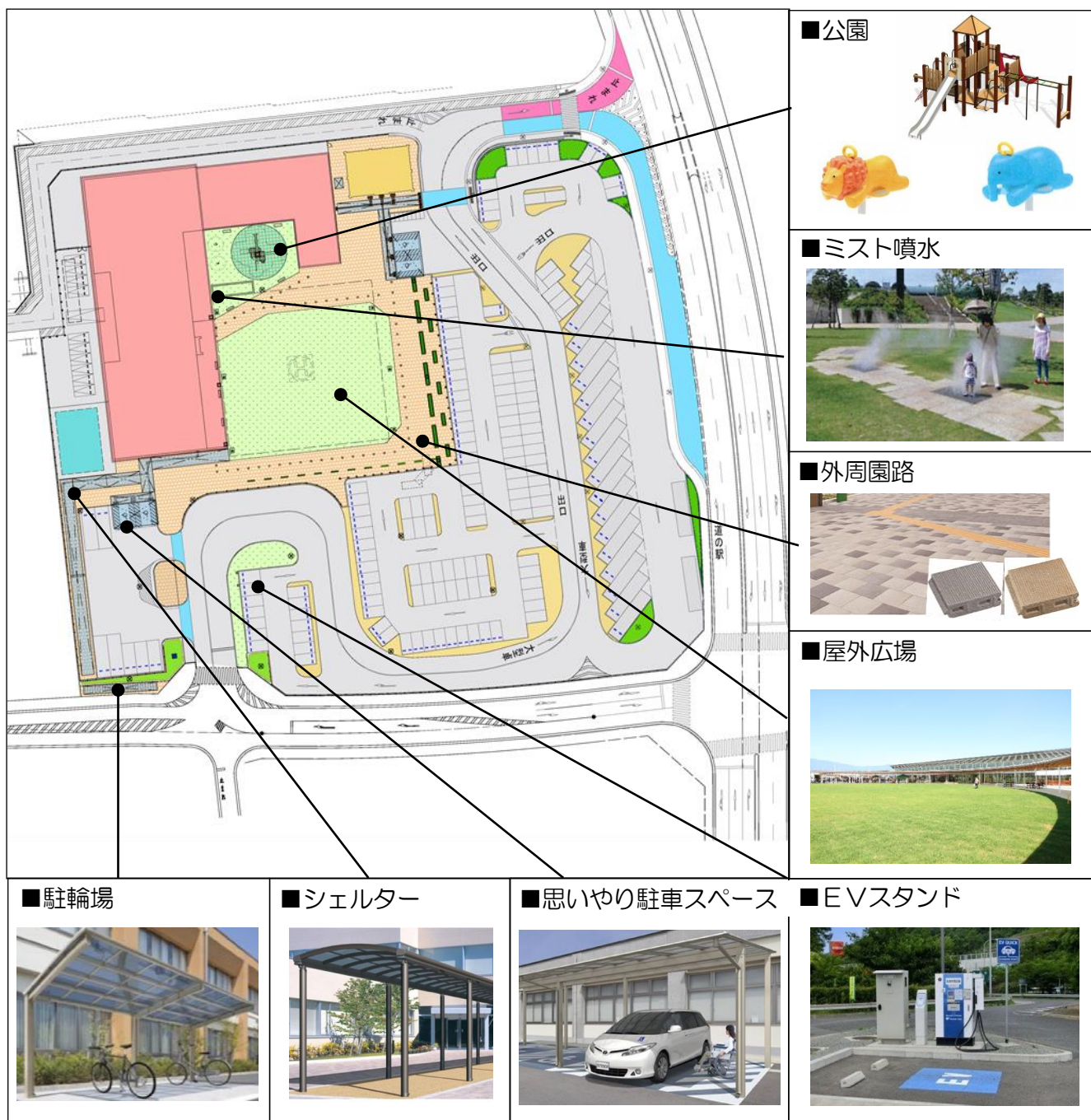


■半屋外空間



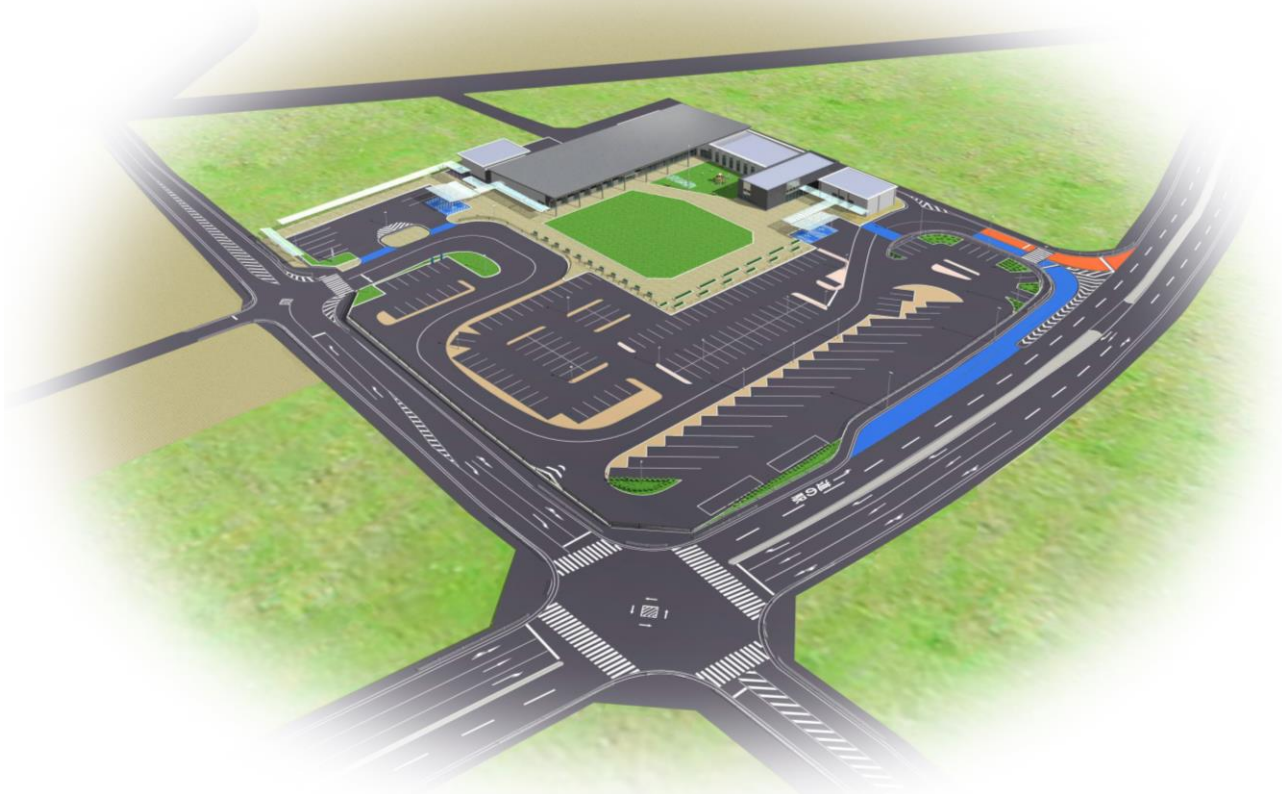
施設配置計画

各施設のイメージを以下のとおり示す。



※関係機関との調整等により変更となることもある。
 ※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることもある。

施設配置イメージ



※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

屋内施設イメージ



※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

整備・管理運営手法

日進市「道の駅」の整備手法は道路管理者との一体型整備による公設で、管理運営の運営手法は指定管理、運営者は民間事業者を予定している。

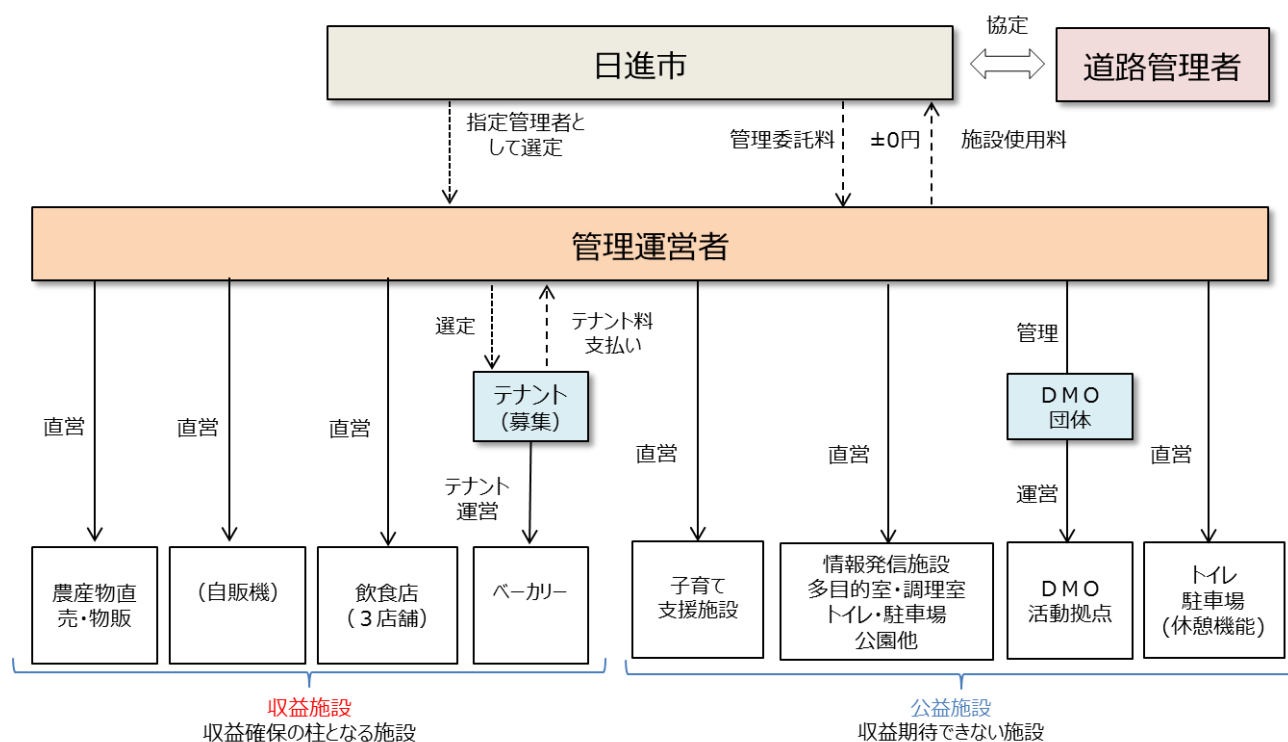
【日進市「道の駅」の整備・管理運営手法まとめ】

整備手法		管理運営	
		運営手法	運営者
一体型	公設	指定管理	民間事業者

管理運営体制（想定）

収益施設のうち、農産物直売・物販、自動販売機、飲食店、ベーカリーの運営方法については指定管理者の考えによる。ここでは次ページの「想定される収支」を算定するにあたって、農産物直売・物販、自動販売機、飲食店3店舗は指定管理者の直営、ベーカリーはテナント運営と仮定したものである。

公益施設のうち、子育て支援施設、情報発信施設、多目的室・調理室等は、指定管理者が直営するものとし、DMO活動拠点はDMO団体が運営する。



想定される収支（試算）

基本設計に基づき想定される収支（試算）は、道の駅全体の管理を含め、以下の仮定をもとに算定すると、約 68,000 千円/年となる。また、年間利用者数により、収支（試算）は大きく異なると考えられる（年間利用者数：約 78 万人 基本計画参照）。

今後開駅に向け、より多くの人に利用されるよう取り組み、日進市が指定管理者に支払うべき管理委託料と、指定管理者が日進市に支払うべき施設利用料を相殺し、±0 円を目指す。

●主な仮定項目と内容(想定)

■営業日	: 原則年中無休 (年末年始等特別休業日はあり)	■公益部門	
■営業時間	: 原則 9:00～18:00(9時間) 飲食部門は利用者状況を見て設定 (11:00～16:00等) 冬場は17:00まで(8時間)	子育て支援施設	: 無料
■年間利用者数	: 約78万人	多目的・調理室	: 有料
■人件費	: 正規概算 6名 非正規概算 35名 計41名	DMO活動拠点	: 無料
		トイレ・駐車場(休憩機能)	: 無料

※水道光熱費、維持管理費は算出しているがここでは省略

●収支算定結果(試算)

(千円)

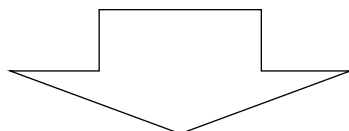
記号	項目	金額	備考
A	売上高	726,000	
B	仕入原価	499,000	
C	一般管理費	148,000	
D	営業利益	79,000	D=A-B-C
E	減価償却費	11,000	
F	経常利益	68,000	F=D-E

●感度分析(試算)

・年間利用者数を約 78 万人とした場合は、単年度の経常利益は約 68,000 千円となる。
・年間利用者数を 8 割の約 60 万人とした場合は、単年度の経常利益は約 31,000 千円となる。

(千円)

番号	年間利用者数	経常利益	備考
1	約80万人	68,000	
2	約78万人	68,000	
3	約70万人	59,000	
4	約60万人	31,000	78万人の約8割
5	約50万人	2,000	78万人の約6.5割



●想定される収支(試算)

・日進市の道の駅の想定される収支(試算)は、道の駅全体の管理を含め、約 68,000 千円となる。
・なお、日進市の道の駅は、都市型の道の駅として新たな道の駅を目指しており、当面の収支算定のための利用者数は 8 割の約 60 万人以上と考え、約 31,000 千円以上を期待している。

概算事業費

「道の駅」における概算事業費は、現時点において試算すると、道の駅整備で約14億円(用地費含まず)、道の駅に関する周辺道路等整備で約2億円(用地費含まず)を見込んでいる。なお、概算事業費は、今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

(1) 道の駅整備 概算事業費

番号	機能名	施設名	概算事業費
1	休憩機能	・駐車場施設 ・トイレ施設	約2億円
2	地域連携機能 (情報発信機能等含む)	・情報発信施設(休憩施設含む) ・駐車場施設 ・トイレ施設 ・飲食施設 ・農産物直売・物販施設 ・子育て支援施設 ・屋外広場 ・公園 ・多目的施設 ・DMO活動拠点(事務所) ・バス停施設 等	約12億円
3	合計		約14億円

* 防災倉庫、耐震性貯水槽は、防災に関わる別事業のため除く。

* 概算事業費は、今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

(2) 周辺道路等整備 概算事業費

番号	項目	主な内容	概算事業費
1	主要地方道 瀬戸大府東海線	道路整備、交差点改良	約1億円
2	市道本郷・藤島線 市道本郷前田線	道路整備	約1億円
3	合計		約2億円

* 概算事業費は、今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

今後のスケジュール（想定）

	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	備考
計画の策定 ・基本構想の策定※1 ・基本計画の策定※2								※1 平成28年度 策定 ※2 平成29年度 策定
測量・設計 ・現況測量 ・地質調査 ・基本設計 ・詳細設計								
用地取得等								
管理運営の検討								
建設・施工								
「道の駅」供用開始							開駅	

※関係機関との調整等により変更となることがある。

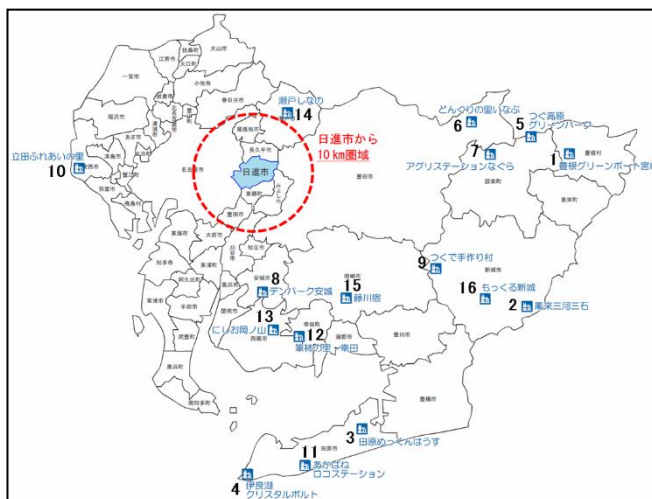
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

「道の駅」の整備状況

現在、全国の「道の駅」登録数は1,145駅、愛知県内の「道の駅」登録数は16駅である。

〈全国「道の駅」登録数〉

1,145駅(平成30年4月25日時点)



【愛知県内の道の駅】

番号	駅名	市町村名	登録年月日
1	豊根グリーンポート宮嶋	豊根村	H5.4
2	鳳来三河三石	新城市	H5.4
3	田原めつくんはうす	田原市	H5.4
4	伊良湖クリスタルポルト	田原市	H6.8
5	つぐ高原グリーンパーク	設楽町	H6.8
6	どんぐりの里いなぶ	豊田市	H10.4
7	アグリステーションなぐら	設楽町	H11.8
8	デンパーク安城	安城市	H12.8
9	つくで手作り村	新城市	H13.8
10	立田ふれあいの里	愛西市	H17.8
11	あかばねコスステーション	田原市	H21.3
12	筆柿の里・幸田	幸田町	H21.3
13	にしお岡ノ山	西尾市	H21.7
14	瀬戸しなの	瀬戸市	H22.8
15	藤川宿	岡崎市	H24.9
16	もっくる新城	新城市	H26.10

参考資料

- 全国的に人口減少期を迎える中、本市の総人口（国勢調査）は、昭和55年から平成27年までの間に、約2.1倍の87,622人にまで増加している
- 平成30年2月には、人口9万人を達成した。また、他市からの通学を含む大学生数は約18,000人に上る。
- 将来人口推移をみると、平成72年には昭和55年と比較して約2.5倍以上の110,764人になると予測されている



- 日進市には、5つの大学（愛知学院大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、椋山学園大学、名古屋商科大学）が立地する文教都市である（■青枠）
- 日進市に隣接して愛知淑徳大学（長久手市）が立地している
- 平成21年度から市内の大学を中心に9大学と大学連携協力協定を締結し、公開講座や委託事業など連携事業を進めている



※中部大学と協定を結んでいるが、春日井市にあるため、右図には記載していない。市内に付属校の中部大学第一高等学校があるため図上に記載した。

道の駅の検討における市民アンケート調査、各種団体ヒアリング等

(1)平成 27 年度(日進市人口ビジョン・総合戦略)

「道の駅」の整備事業は平成 28 年 3 月に「日進市人口ビジョン・総合戦略」に位置づけられた。

なお、策定にあたっては、平成 28 年 2 月 18 日から 3 月 17 日にパブリックコメントを実施し策定した。

(2)平成 28 年度(基本構想)

基本構想を策定するため、3 つのアンケート調査、12 つの各種ヒアリング調査を行った。

■平成 28 年度調査 ※基本構想を参照。

番号	アンケート調査	実施日	備考
1	市民アンケート調査（日進市図書館）	H28.12.2～ H28.12.3	
2	利用者ニーズ調査（道の駅瀬戸しなの）	H28.12.2～ H28.12.3	
3	利用者ニーズ調査（道の駅藤川宿）	H28.12.2～ H28.12.3	

番号	各種ヒアリング先	実施日	備考
1	J A あいち尾東	H28.11.24	関連団体調査
2	日進市商工会	H28.11.22	関連団体調査
3	J A あいち尾東日進園芸センター	H28.6.20	関連団体調査
4	あぐりん村（長久手市）	H28.6.27	周辺同様施設調査
5	瀬戸しなの（瀬戸市）	H28.6.27	周辺同様施設調査
6	げんきの郷（大府市）	H28.7.8	周辺同様施設調査
7	名古屋学芸大学 （管理栄養学部、ヒューマンケア学部）	H28.6.26 H28.7.27	大学調査
8	名古屋外国語大学（現代国際学部）	H28.9.14	大学調査
9	愛知学院大学（文学部）	H28.9.21	大学調査
10	名古屋商科大学（経営学部）	H28.8.19	大学調査
11	椋山女学園大学 （人間関係学部、生活科学部）	H28.7.25 H28.7.29	大学調査
12	愛知淑徳大学（C C C）	H28.8.5	大学調査

(3)平成 29 年度(基本計画)

基本計画を策定するため、2 つのアンケート調査、7 つの各種ヒアリング調査等を行った。また、公募の市民や学識経験を有する者等 15 名の委員で構成する「日進市道の駅整備検討委員会」を設置するとともに平成 30 年 1 月 4 日から 2 月 2 日までパブリックコメントを実施し、基本計画を策定した。

■平成 29 年度調査 ※基本計画を参照。

番号	アンケート調査	実施日	備考
1	市民アンケート調査（無作為抽出）	H29.7.18 ～H29.8.4	
2	主要地方道瀬戸大府東海線 利用者アンケート調査	H29.7.23	

番号	各種ヒアリング先	実施日	備考
1	NPO 法人 ファミリーステーション Rin	H29.7.31	にっしん子育て総合支援センター の指定管理者（子育て支援）
2	日進野菜塾	H29.8.6	道の駅計画地周辺の活動団体 （農業振興）
3	日進絆子ども食堂	H29.8.8	ヒアリング希望団体（子育て支援）
4	名古屋商科大学（地域研究サークル）	H29.7.28	委員関係大学（大学）
5	名古屋学芸大学（ヒューマンケア学部）	H29.8.7	道の駅活用事例の紹介 （大学）（防災・減災）
6	本郷区	H29.9.5	地元区
7	にっしん観光まちづくり準備委員会	H29.8.29	

(4)平成 30 年度(基本設計)

基本設計を作成するため、17 つの団体に利活用希望調査、8 つの各種ヒアリング調査等を行った。

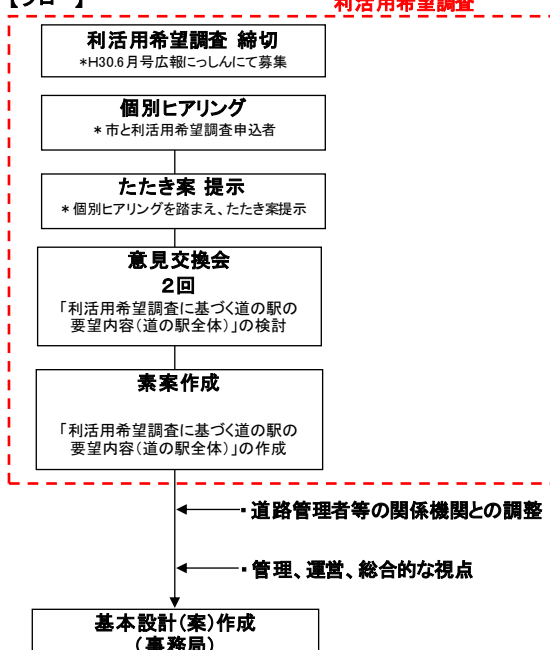
■利活用希望調査（H30 年 6 月号の広報紙にて募集）

番号	利活用希望調査	実施日	備考
1	NPO 法人 ファミリーステーション Rin	H30.7.3	利活用希望調査に係るヒアリング
2	赤ちゃんサークル	H30.6.25	利活用希望調査に係るヒアリング
3	ワンズパス (one's path)	H30.7.4 H30.10.19	利活用希望調査に係るヒアリング
4	自然派子育てサークル とこてく	H30.6.26	利活用希望調査に係るヒアリング
5	NPO 法人日進野菜塾	H30.6.28 H30.9.11 H30.10.5	利活用希望調査に係るヒアリング
6	惣助ファーム	H30.6.26	利活用希望調査に係るヒアリング
7	株式会社 ideai (イデア!)	H30.7.3	利活用希望調査に係るヒアリング
8	日進 fb 交流会	H30.6.25	利活用希望調査に係るヒアリング
9	自然工房	H30.7.5 H30.9.28	利活用希望調査に係るヒアリング
10	雑貨屋 Knit.	H30.7.4	利活用希望調査に係るヒアリング
11	いきいき塾 NPO 絆	H30.6.28	利活用希望調査に係るヒアリング
12	にっしん犬友の会	H30.6.26 H30.9.10 H30.9.28	利活用希望調査に係るヒアリング
13	にっしんライトミュージック研究会	H30.6.26 H30.9.10 H30.9.28	利活用希望調査に係るヒアリング
14	日進児童合唱団	H30.7.2	利活用希望調査に係るヒアリング
15	場リスタ Next	H30.7.6	利活用希望調査に係るヒアリング
16	にっしん観光まちづくり協会	H30.7.19 H30.9.10 H30.9.28	利活用希望調査に係るヒアリング
17	愛知保護区保護司会日進部会	H30.7.13 H30.9.12 H30.10.2	利活用希望調査に係るヒアリング
18	利活用希望調査 第 1 回 意見交換会	H30.8.30	利活用希望調査の全体会議
19	利活用希望調査 第 2 回 意見交換会	H30.9.25	利活用希望調査の全体会議

計 31 回

【利活用希望調査の流れ】

【フロー】



■関係機関との調整等

番号	各種ヒアリング先	実施日
1	日進市商工会	H30.5.21 H30.8.29
2	J A あいち尾東	H30.9.21
3	尾三消防本部	H30.10.4
4	にっしん観光 まちづくり協会	H30.11.9

■道の駅 指定管理実績業者等とのヒアリング

番号	各種ヒアリング先	実施日
1	A 業者	H30.10.9
2	B 業者	H30.10.15
3	C 業者	H30.10.16
4	D 業者	H30.10.23

日進市の様々な地域活動（１）

道の駅計画地の周辺では様々な地域活動が行われており、道の駅について下記に示す多くの団体から活用したいという期待の声があがっている。

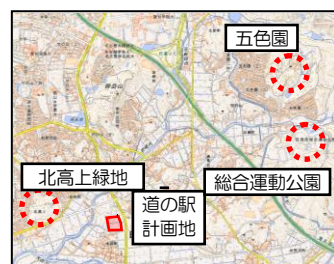
1. NPO 法人ファミリーステーション Rin

「Rinのおうち」を拠点に、主に市内の0～2歳児を持つ子育て世代を対象に子育て支援活動を行っている。また、平成19年度からにっしん子育て総合支援センターの指定管理者として、施設の管理・事業運営を行っている。



2. 自然派子育てサークル とくてく

「日進市の美しい自然を親子の原風景とし、『自分で生きる力』を育む子育て」を理念に、親子の自然体験や、暮らし・子育てが楽しくなる手仕事や食などのワークショップを開催している。



3. NPO 法人日進野菜塾

2005年から日進市において田んぼ、畑を中心に農と自然の体験、食育等の活動を進めるNPO法人。現在、農業体験農園の運営、朝市の事務局、オーガニック野菜の販売等を手がけ、都市住民に「農ある暮らしの楽しさ」を提案している。



4. 惣助ファーム

市内の北新地区と五色園地区の住民で活動している農業団体で、今年で活動11年目。朝市（げんき朝市：毎週第4日曜日）への地元産農産物の出品やイチジクの無人販売のほか、家庭教育推進委員会の行事として農業体験イベントを開催するなど地域貢献も行っている。



5. 株式会社 ideai (アイデア！)

飲食業、酒類製造業、デザイン業。「あんこ椿」(カフェ)を経営。市内で自家栽培した農産物で醸造したどぶろくとワインの提供・販売や、キッチンカーを利用した出張販売など、日進市のPRや名産品作りに精力的に取り組んでいる。



6. 日進 fb 交流会

「つどえる場所を作って人をつなげる」思いから市民のつながりや交流の場を提供しようと、平成24年から活動開始。facebook (SNS) を活用して、市民交流や情報交換の場「モーニング交流会」を市内や近隣市町の飲食店で開催し、人と人との交流を育んでいる。



日進市の様々な地域活動（２）

7. 自然工房

自然薯作りを始めたのは約 10 年前。当初は、みよし市内で作付けを行っていたが、昨年から日進市岩崎町地内で営農開始。無農薬にこだわった自然薯の今秋の収穫予定は約 3,000 本。瀬戸市内の駅前や商店街のマルシェなどで販売している。



8. いきいき塾 NPO 絆

中高年、定年退職者のそれぞれの知識、人脈等の力を借りて、イベント、セミナー交流会、飲食の提供、高齢者や障害者の暮らしのサポート、住環境の相談・支援を行っている。また、その一環として日進絆子ども食堂を企画運営している。



9. 日進絆子ども食堂

日進絆子ども食堂は、平成 28 年度に活動を開始。市民や市内事業者からの食材提供、大学生のボランティアスタッフ等の協力を得ながら、子どもの居場所づくりや保護者のコミュニティづくりを目指している。



10. にっしん犬友の会

平成 25 年に結成。今年で活動 6 年目。市内を中心に、飼い犬と一緒に散歩しながら、まちの美化活動と防犯パトロールを行っている。会員には犬を飼っていない人も多数所属しており、活動後はドッグカフェ等で会員同士の交流を図っているほか、最近では太極拳にも取り組んでいる。



11. にっしんライトミュージック研究会

歌と演奏とおしゃべりで楽しませたいという思いで、平成 28 年夏にバンド「ハネックス」を結成したのをきっかけに、同研究会を立ち上げた。定期的に老人施設にボランティア活動訪問や各種コンサートへの出演を行っており、参加者を楽しませている。



12. 日進児童合唱団

合唱を通じて地域の芸術文化振興に貢献し、子どもたちの感性を高めることを願い平成 2 年に設立。団員は日進市はじめ近隣市町の小学生～高校生約 100 名。定期演奏会は本格的な合唱ミュージカルで好評を博している。愛知県少年少女合唱連盟所属。



日進市の様々な地域活動（３）

13. 場リスタNext

市主催「場づくりマスター養成講座」修了者の有志が設立した団体。「日進に携わるすべての人が、つながりを感じる居場所があるまちづくり」に寄与することを目的に、スキルアップ講座や交流会の開催、時にはファシリテーターの立場から市内団体の会議等を支援している。



14. にっしん観光まちづくり協会

日進市内の地域資源を「にっしんの魅力」として発信、地域の発展につなげようという目的で平成30年3月28日に設立し、市内で取り組まれた「ぐるぐるNISSHIN まちミル博覧会」の運営を担当するほか、愛知学院大での「産官学連携講座」を開催している。



15. 愛知保護区保護司会日進部会

同部会は、現在13名の構成員により、保護観察対象者と定期的に面談を行い、指導監督や補導援護を行い改善更生を図るほか、社会を明るくする運動の一環として、本郷町地内で「ひまわりプロジェクト」の実施など、啓発やPR活動に取り組んでいる。



上位計画の位置づけ

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

1. 日進市人口ビジョン・総合戦略



日進市人口ビジョン・総合戦略

平成28年3月
日進市

3 大都市近郊における働きをえるまちを創生する

地域内経済や観光の活性化、産業の発展

本計画は、人口増加や都市化の進展に伴う都市圏としての発展を促すこと、また、都市圏の発展に伴って発生する課題の解決を図ることを目的として策定されている。

人口増加に伴って、都市圏の発展に伴って発生する課題の解決を図ることを目的として策定されている。

また、都市圏の発展に伴って発生する課題の解決を図ることを目的として策定されている。

項目	数値	単位
市域人口（平成27年）	247,145	人
市域人口（平成29年）	260,000	人
人口増加率（平成27年～平成29年）	0.74	%

⑩道の駅整備事業

地域活性化の拠点、観光・産業・福祉・防災等の地域資源の活用を図る施設として道の駅を整備します。

2. 第5次日進市総合計画 第7次実施計画



第7次実施計画

平成29年度～平成31年度

(1) 幹線道路整備
②(仮称)名古屋瀬戸道路日進インターチェンジ・(仮称)日進中央線の整備促進

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
都市計画道路整備事業（都市計画道路）	☆スマートインターチェンジ整備事業	調査	調査	1C予備設計	1C詳細設計

③幹線道路の整備

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
市道黒笹三木木線整備事業（道路建設課）	☆市道黒笹三木木線整備事業	工事	⇒	⇒	⇒
市道黒笹三木木線整備事業（道路建設課）	☆市道黒笹三木木線整備事業	工事	⇒	⇒	⇒
(仮称)野方三ツ池公園線整備事業（道路建設課）	☆(仮称)野方三ツ池公園線整備事業	基本構想策定	基本設計測量	実施設計用地取得	工事

⑩道の駅整備事業（道路建設課）

事業名	事業概要	28年度	29年度	30年度	31年度
☆道の駅整備事業	☆道の駅整備事業	基本構想策定	基本設計測量	実施設計用地取得	工事

道の駅に関する日進市の取り組み等

※基本計画より抜粋。詳細は基本計画を参照

1. にっしん市民まつり（産業まつり）等

「にっしん市民まつり」は日進市の秋の祭典。その中心となる「産業まつり」は市内商工業や農業振興を目的に、市内飲食店の屋台や農産物の販売等のブースが出店され、毎年、多くの市民が来場している。

「にっしん夢まつり」は多数のチームが鳴子おどりなどを行う「夢おどり」、約150の屋台が出店する「夢屋台」、夕方から約2000発の花火が夜空を彩る「夢花火」から構成され、特に「夢花火」は澄み渡る秋の夜空を彩る風物詩として市民をはじめ多くの人に親しまれている。

【来場者数】

No.	イベント名	主催	開催時期	来場者数
1	にっしん夢まつり	実行委員会・商工会・市	9月	130,000人 (H30年)
2	市民まつり (産業まつり)	市 (JA・商工会)	11月	42,000人 (H29年)

2. 田園フロンティアパーク構想（基本計画）

田園フロンティアパークは、拠点施設と拠点農園からなる。拠点施設は、レストラン、産地直売所、食品加工所、農学校、農業リサイクル施設、防災倉庫などを整備する。また、拠点農園は、市内の農地を活用して、農家と協力しながらレクリエーション農園・実習農園・市民農園・体験農園などを整備する。



3. にっしん版DMO構想

日進市では、観光まちづくりに向けて、平成30年3月28日に、にっしん観光まちづくり協会を設立。今後、DMO※設立に向けて取り組んでいく予定。

※DMO：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役となる組織のこと



日進市の特産品等（１）

日進市産の農産物等

日進市の特産品等としては、下記のものがある。道の駅の開駅に向けて、さらなる特産品の開発が期待される。また、今後選定する指定管理者と協力して市外に売れる商品の開発を行い、日進市のPRが進むことを期待している。

■アレッタ

※JAあいち尾東推奨品



■いちご(いちご農園ブルーノ)

※日進市商工会推奨品



■いちご

※JAあいち尾東推奨品



■いちじく



■カリフローレ

※JAあいち尾東推奨品



■JA米

※JAあいち尾東推奨品



■トマト

(日進トマトフロンティア)

※日進市商工会推奨品



■トマト

※JAあいち尾東推奨品



■プチヴェール

※JAあいち尾東推奨品



■ぶどう

(浅桑園)



■ぶどう

(葡萄のふくおか)



■ぶどう

※JAあいち尾東推奨品



※五十音順

・日進市商工会推奨品

日進市商工会として、今後広く販売を推奨していくもの

・JAあいち尾東推奨品

JAあいち尾東として、今後広く販売を推奨していくもの

日進市の特産品等（２）

日進市産を使用した加工品

- 清酒果流 純米吟醸
（愛知郡小売酒販組合）
※日進市商工会推奨品



- 牛乳（愛知牧場）



- ジェラート（愛知牧場）



- 飲むヨーグルト（愛知牧場）
※日進市商工会推奨品



- ぶどう・ジュース等加工品
（浅桑園）



- にしんうりぼー
（イエローパンプキン）
※日進市商工会推奨品



- プチヴェール酢
（JAあいち尾東）
※JAあいち尾東推奨品



- プリンセスヴェール
（プチヴェールのカステラ）
（JAあいち尾東）
※JAあいち尾東推奨品



- プリンセスヴェール
（プチヴェールの和菓子）
（JAあいち尾東）
※JAあいち尾東推奨品



- 濁酒（椿酒造）
※日進市商工会推奨品



- ぶどう・ジュース等加工品
（葡萄のふくおか）



※商店の五十音順

- 日進市商工会推奨品
日進市商工会として、今後広く販売を推奨していくもの
- JAあいち尾東推奨品
JAあいち尾東として、今後広く販売を推奨していくもの

日進市の特産品等（３）

日進市の商店の加工品

■オリジナルブレンドコーヒー
(Aoyagi Coffee Factory)
※日進市商工会推奨品



■パン(愛歩)
※日進市商工会推奨品



■元祖かぼちゃプリン
(イエローパンプキン)



■老麺法の天然酵母パン(ideai)
※日進市商工会推奨品



■シフォンケーキ(きりむきり)



■ケーキ(くりんこ)
※日進市商工会推奨品



■ソーセージセット
(CharcuterieKoide)



■臥龍の松(槌屋製菓舗)
※日進市商工会推奨品



■日進三彩水羊羹(槌屋製菓舗)



■名古屋ふらんす
(名古屋フランスcorp)



■ちょこぽん(PATISSERIE 結)
※日進市商工会推奨品



■スイートぽれと(ポレポレ)



※商店の五十音順

- ・日進市商工会推奨品
日進市商工会として、今後広く販売を推奨していくもの
- ・J A あいち尾東推奨品
J A あいち尾東として、今後広く販売を推奨していくもの

■りんごのきもち(ポレポレ)
※日進市商工会推奨品



■ひつまぶし弁当
(まるや本店 日進香久山店)
※日進市商工会推奨品



■桜もちパイ(三ツ葉)
※日進市商工会推奨品



■本生バームクーヘン(三ツ葉)



■フルーツタルト(ミルグレイ)
※日進市商工会推奨品



■サンドイッチ(ラパンシェリ)
※日進市商工会推奨品



■エクレア(ロッシェ)
※日進市商工会推奨品



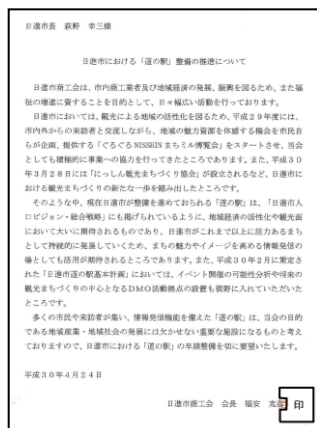
※商店の五十音順

- 日進市商工会推奨品
日進市商工会として、今後広く販売を推奨していくもの
- J A あいち尾東推奨品
J A あいち尾東として、今後広く販売を推奨していくもの

道の駅に関する期待の声

日進市商工会、J Aあいち尾東、にっしん観光まちづくり協会から道の駅に関する期待の声が上がっており、要望書が提出されている。※詳細は日進市のHP参照（下記は一部抜粋）

商 工 会



現在、日進市が整備を進めておられる「道の駅」は、「日進市人口ビジョン・総合戦略」にも掲げられているように、地域経済の活性化や観光面において大いに期待されるものであり、日進市がこれまで以上に活力あるまちとして持続的に発展していくため、まちの魅力やイメージを高める情報発信の場としても活用が期待されるところであります。また、平成30年2月に策定された「日進市道の駅基本計画」においては、イベント開催の可能性分析や将来の観光まちづくりの中心となるDMO活動拠点の設置も視野に入れていただきたいところです。

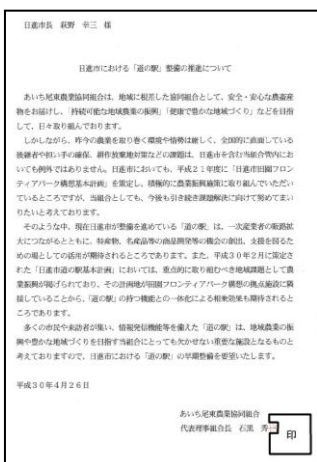
多くの市民や来訪者が集い、情報発信機能を備えた「道の駅」は当会の目的である地域産業・地域社会の発展には欠かせない重要な施設になるものと考えておりますので、日進市における「道の駅」の早期整備を切に要望いたします。

平成30年4月24日

日進市商工会 会長 福安 克彦

※一部抜粋

J Aあいち尾東



現在日進市が整備を進めている「道の駅」は、一次産業者の販路拡大につながるとともに、特産物、名産品等の商品開発等の機会の創出、支援を図るための場としての活用が期待されるところであります。また、平成30年2月に策定された「日進市道の駅基本計画」においては、重点的に取り組むべき地域課題として農業振興が掲げられており、その計画地が田園フロンティアパーク構想の拠点施設に隣接していることから、「道の駅」の持つ機能との一体化による相乗効果も期待されるところであります。

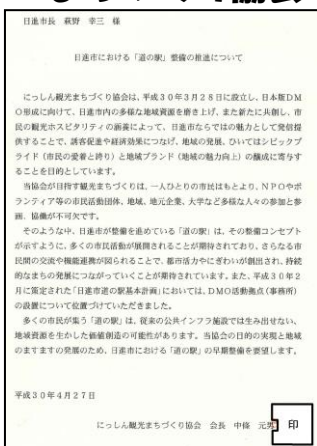
多くの市民や来訪者が集い、情報発信機能等を備えた「道の駅」は、地域農業の振興や豊かな地域づくりを目指す当組合にとっても欠かせない重要な施設となるものと考えておりますので、日進市における「道の駅」の早期整備を要望いたします。

平成30年4月26日

あいち尾東農業協同組合 代表理事組合長 石黒 秀一

※一部抜粋

にっしん観光 まちづくり協会



日進市が整備を進めている「道の駅」は、その整備コンセプトが示すように、多くの市民活動が展開されることが期待されており、さらなる市民間の交流や機能連携が図られることで、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展につながっていくことが期待されています。また、平成30年2月に策定された「日進市道の駅基本計画」においては、DMO活動拠点（事務所）の設置について位置づけていただきました。

多くの市民が集う「道の駅」は、従来の公共インフラ施設では生み出せない、地域資源を生かした価値創造の可能性があります。当協会の目的の実現と地域のますますの発展のため、日進市における「道の駅」の早期整備を要望します。

平成30年4月27日

にっしん観光まちづくり協会 会長 中條 元男

※一部抜粋

「道の駅」の実現に向けて

（１）基本設計の検討について

平成 30 年 4 月に都市計画課に基幹施設整備室が新たに設置され、平成 30 年 2 月に策定した基本計画に基づき基本設計の検討を進めてきました。設計検討にあたっては、平成 30 年 6 月号の広報紙にて募集した「利活用希望調査」を行い、子育て支援施設、多目的施設、飲食施設などに関して約 30 回の個別ヒアリング、2 回の意見交換会を行い、意見・要望をお聞きしました。

数多くの様々な意見・要望をいただき、できる限り反映しましたが、一方の意見・要望を反映すれば、他方の意見・要望を反映することができない、あるいは、道の駅全体を考えた時に望ましくないケースなどもあり、全ての意見・要望を反映することができませんでした。そういった中で、参加者のご協力のもと、建設的な意見交換を行い、基本設計の検討を行うことができたことに大変感謝しています。今後は、基本設計に基づき、詳細設計を検討していきます。

（２）指定管理者制度の導入に関する検討について

全国の道の駅では、経営状況の良い道の駅もあれば、赤字の道の駅、赤字を黒字に転換させた道の駅もあると聞いています。基本計画では、指定管理者制度を導入し、飲食施設や物販施設などの収益部門と、駐車場や屋外広場などの公益部門を含めた道の駅全体について、専門的な民間事業者を指定管理者に選定し管理運営していくこととしました。

日進市「道の駅」の成功のカギは、優良な指定管理業者に管理運営を依頼し、指定管理業者の業界ネットワークによる広告宣伝、指定管理業者との共同商品開発などの新たな手法を取入れ、多くの人を訪れることのできる道の駅にすることと考えています。そのためには、できるだけ指定管理者に制約を与えず、民間経営の感覚や民間ノウハウを活かした施策を展開してもらうことが大切です。

日進市「道の駅」は、これまでの一般の道の駅とは異なり都市型の道の駅として、多くの指定管理実績業者からも注目されています。今後、指定管理者を定めていく手法等について検討していきますが、優良な指定管理業者の参加を期待しています。

（３）今後の検討について

今後は、基本設計に基づき、詳細設計を進めていく予定です。詳細設計では、防犯カメラの設置などの防犯対策、わかりやすい案内標識などのサイン計画などについて具体的に検討していく予定です。また、引き続き、関係機関との調整等を進めていく予定です。

平成 30 年 12 月

日進市 建設経済部 都市計画課 基幹施設整備室

自治体名：日進市

担 当：建設経済部 都市計画課 基幹施設整備室

電 話：0561-75-2706

ファクス：0561-73-1871

Eメール：kikanss@city.nisshin.lg.jp

